新しい学校の実施設計報告
自分が“世界”と出会う場所

安平町の「自然」「地域」「文化」「人」に触れ、支え、支えられる中で、学校を通して「スポーツ」「テクノロジー」など「異年齢、多世代」の人達、たくさんの「本物」と出会い、さらに「色々な考え」「多様な価値観」「多くの学び」「夢」と出会い、“世界”に生き、“世界”へと羽ばたいていくみんなの学校

コンセプトにある「自分」とは子どもたちのみを指すものではありません。

「世界」とは国外を指しているわけではありません。

地域とのつながりが深い安平町の良さを大切に捉え、子どもたちだけではなく、地域の人々も多様な考え方や価値を学び、あらたな領域や世界と出会うことができる学校という想いが込められています。

人は一生学び、一生育つ。

子どもたちも保護者も地域住民も、みんなにとっての出会いが広がり、出会いによって人々がつながる学校を創りたい。

「自分が“世界”と出会う場所」というコンセプトは、**子どもたちを中心として、高齢者を含む大人までもが豊かに学び育つ場所を創る**ことを目指すものです。

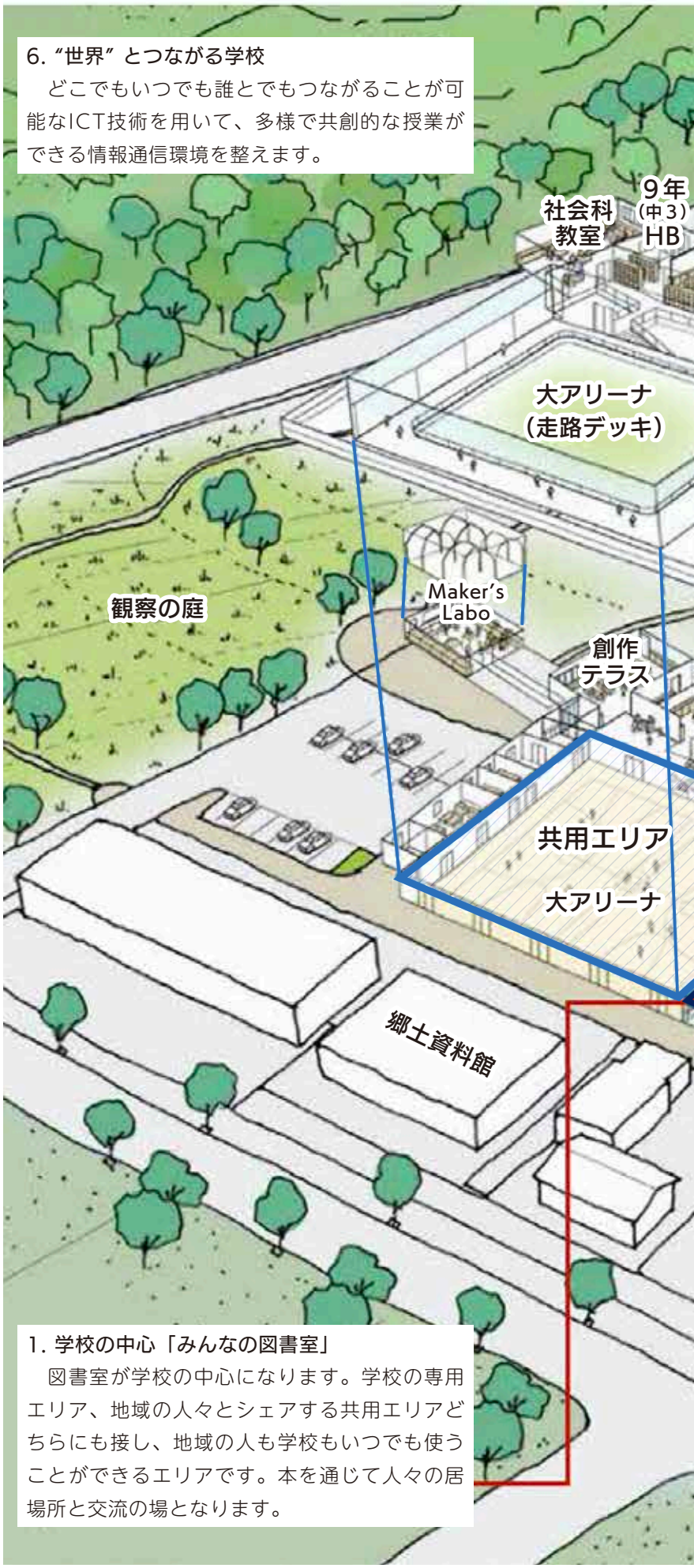
新しい学校は開放・共用・専用の3つのエリアから成り立っています。

■開放エリアは、
地域の人も使うことができます。

■共用エリアは、
学校が使っていないとき地域の人も使うことができます。

■専用エリアは、
学校が主に使い、利用者、場所、時間を限って地域の人も使うことができます。

セキュリティラインをはっきりさせ、
ICT技術を活用して学校・地域両方の
人々が安全に使える学校とします。



6. “世界”とつながる学校
どこでもいつでも誰とでもつながることが可能なICT技術を用いて、多様で共創的な授業ができる情報通信環境を整えます。

1. 学校の中心「みんなの図書室」
図書室が学校の中心になります。学校の専用エリア、地域の人々とシェアする共用エリアどちらにも接し、地域の人も学校もいつでも使うことができるエリアです。本を通じて人々の居場所と交流の場となります。